

日本気象学会国際学術交流基金への募金のお願いと寄付者御芳名（第22報）

日本気象学会は、かねてから各国の気象関係組織および研究者との学術交流を図るため、国際学術交流基金を設けて、学会もしくは会員の学術交流の援助を目的とした活動を致しております。実施にあたっては、外国で開催される国際学術研究集会への会員の出席の補助、国際学術交流に貢献する事業の援助などです。

本来この基金は、少なくとも一千万円程度の元金があって、その利息で活動費をまかなうことを目標としていますが、現在のところ、その過渡期として、学会自身の年間予算から毎年約百万円を積み立て、並行した、わず

かの一般事業費と篤志による個人寄付金で活動を行っております。

基金の基礎を固めるためには、是非、会員の皆様からの御寄付をお願いします。理事会としては、さらには大口の団体寄付を仰ぐべく努力致す所存です。国際学術交流基金の趣旨を御理解いただき、11月号挿入の振替用紙を御利用の上、一口千円として、なるべく多くの御寄付をお願いします。

昭和63年4月

日本気象学会

昭和63年4月1日現在、下記の会員からご寄付がありましたので、お礼を兼ねて報告申し上げます。（敬称略）

記

重原好次，木村富士男，日本電信電話㈱

| | | | | |
|----|------|---------|--------|------------|
| 以上 | 2名 | 1団体合計口数 | 1,010口 | 1,010,000円 |
| 累計 | 172名 | 2団体 総口数 | 2,384口 | 2,384,000円 |

| | | |
|-----------|-----------|------------|
| 63.4.1 現在 | 国際学術交流基金額 | 5,000,000円 |
| (うち配当金 | 158,683円 | 基金繰入) |